

平成 30 年度 出前懇談会 会議録			
地区	三芳 地区		市長・副市長の出席 市長・副市長
日時	平成 30 年 7 月 31 日 (火) 19:00～20:30		場 所 三芳公民館
地区参加者	深町日高町自治会長(地区理事)、長尾刃連町自治会長、 小宇佐下井手町自治会長、河津三芳小湊町自治会長、 森山大部町自治会長、梅木桃山町自治会長、長尾小ヶ瀬町自治会長、 鍛冶谷神来町自治会長、橋本求町自治会長、中尾古金町自治会長、 石松三芳地区振興協議会長		計 40 名
担当グループ	リーダー	佐藤 市民環境部長	副リーダー 川津 林業振興課長
	プレゼンター	河津 バイオマス資源化センター所長	連絡調整担当 日野 夜明振興センター長 後藤 地方創生推進課長
	書記	伊藤 人権・同和教育課長、森下 なかつえ保育園長	
	構成員		
	その他		
議題	テ ー マ		説 明 者
	1. 「防災・減災の取組」～それぞれの取組～		河津 バイオマス資源化センター所長
	2. 「土砂災害警戒区域」とは、		河津 バイオマス資源化センター所長

1. 「防災・減災の取組」～それぞれの取組～
2. 「土砂災害警戒区域」とは、

(質問)

- ・説明の市の取り組みというのは、災害が起きた後の話で、災害が起きないようにするという話ではないのか。防災対策として、市がやろうとしている事は何かあるのか。

(回答)

- ・大きな災害が立て続けに起きている状況なので、まず、災害からどうやって安全に避難し、被害が大きくならないために何ができるか、話をさせていただきたい。
- ・災害防止策は、その後の話として聞いていきたい。
- ・今、この地域で課題になっていることは何かという事を聞いて、今できることから取り組みたい。安全に避難すること、人命を守ることが最大の課題であると考えている。

(意見)

- ・ 求来里地区は圃場整備で、三者一体の河川改修を行った結果、今回の水害については大きな被害はなかった。
- ・ 6年前の水害では、床下浸水があり、水路の改修に大きな費用がかかるという事だった。が、農業振興課と土地改良区の方が、迅速かつ適切な対応をしてくれて、水路の石を除去し水がはけるようになった。
- ・ 旧農協の求来里支所前の交差点は水没し、水がひかなかった。が、土木課の対応で、トンネルになっていた部分を改修し、川まで水路を作ってもらい水がはけるようになった。
- ・ きめ細かな対応で、大きな費用をかけなくても減災を進めて、人命を救うことになると感じた。

(回答)

- ・ 今回の豪雨の状況も踏まえ、皆さんが把握している地域に残っている課題があれば、その話を聞かせてもらいたい。
- ・ 水路については土地改良区の管理のため、市が把握していない情報もある。現場の情報を頂ければ改良区とも相談し対応していきたい。

(要望)

- ・ 今年 11 月の防災士の養成講座が、三芳祭と重なっている。違う日に講座を設けてもらいたい。

(回答)

- ・ 防災士養成講座は、年 2 回あったと思うので、案内する。

(質問)

- ・ 大部町に高取谷川という川があり、7月の雨で水深 2m になり、あと 50 cm で越流しそうになった。センチナリアンの近くにメガソーラー（三重県の業者）が来る計画がある。すでに土地を借りており、山を整備し木を切ってしまうと高取谷川に、水が流れ込み、川の水が溢れる。

(回答)

- ・ 早速、調査してお知らせする。

(意見)

- ・三芳小学校と三芳公民館が避難場所になっている。7月の豪雨の時、高齢者等避難・避難準備情報が出たが、公民館主事は研修のため連絡がとれず、体育館は開いていて担当は来ているが、電話による連絡のしようがなかった。避難所に連絡がとれるようにしていただきたい。

(回答)

- ・市の指定避難所になっており、避難準備情報を出す時点で、職員が配置され、開けておかないといけない。状況を確認しておく。

(質問)

- ・ハザードマップでは、下井手町は安全であると思っている。しかし、内水面雨量が多い場合、雨水がはげきれないで、市民生協裏の水路が越流して、冠水寸前までいくこともあり得る。どのようなシミュレーションをしたのか。

(回答)

- ・内水面ハザードマップの作成にあたり、降水量は、1時間当たり100mmを想定している。想定を超える状況が予想されれば、避難勧告等を出す。
- ・雨量が予想できないところもあるが、察知次第お知らせすることになる。

(質問)

- ・小淵橋は長い年を経ている（昭和33年3月竣工）と思うので、思い切った対策をとる必要があり、費用がかかるが稼働式を取る方法もあるのではないかと考える。
- ・地震について、外宮の配水池の岩盤調査はしているのか。亀裂が入った場合など、想定が大事だと思う。水害のことだけでなく地震のことも考えないといけないのではないかと思う。

(回答)

- ・小淵橋の件だが、根本的に、玖珠川水系のダム建設を、再三、国土交通省にお願いしている。運動が必要な時は皆さんに協力いただきたい。
- ・南海トラフの地震で配水池が壊れることはないと言っている。また、地震による下笠・松原・大山ダムの決壊は、マグニチュード10を超えない限り考えにくいとのこと。ダムに何かの事故があって、水がこの辺りに来るまでに40分かかるといふことなので、その間に何らかの対応はできると思う。

(質問)

- ・ 玖珠川の天領大橋の下の盛土の件を知っているか。盛土があるから水が流れてくる。盛土の件は、違反だという事だが、10年以上取り除かれてない。最近の雨量を考えると大変危険である。

(回答)

- ・ 知っている。何度も国土交通省に出向き、勧告もしてもらっている。河川内の障害物なので、国土交通省の権限でやってもらいたいと再三要求している。今後も要求し続けていく。

(質問)

- ・ 避難場所の見直しについて、三芳地区では、三芳小学校と公民館になっているが、高齢者にとっては、トイレに手すりが完備されていなかったり、場所が遠いなど不便であると聞く。三芳地区には大きな老人施設があるので避難場所にできないか。

(回答)

- ・ 協定を結んでいる福祉避難所はある。誰でもということにならない。公民館等は、障がい者用トイレも設置しているので指定避難所になっている。しかし、必ず市の指定避難所に避難しなければいけないのではなく、地域で、地域の実態にあった自主避難所を決めて活用してもよい。指定避難所では、市の援助が受けられるので、災害の状況を見て最終的に、指定避難所を利用させていただくという考えである。
- ・ 自主避難所や指定避難所について、市民にわかりやすくお知らせしていきたい。

(質問)

- ・ 神来町の指定避難所は三芳小学校だが、市の総合体育館の方が近く、行くのにも安全なので、そこに避難したいが、できるのか。

(回答)

- ・ 地域で話し合っ、どこに避難するか決めて、市が安否確認できるように市に避難先を連絡してほしい。